

史跡高遠城跡保存活用計画(案)に対する意見の内容と本市の考え方

1 意見募集(パブリックコメント)の実施結果

期 間	令和7年5月1日(木)～5月26日(月)正午
意見提出者数	7名
意見総数	34件

2 意見の内容と本市の考え方

No.	該当ページ	内容	市の考え方
1	157	進徳館の保存修理、旧大手門(移築門)の保存修理について、優先順位を上げて実施されたい。	進徳館の保存修理、旧大手門(移築門)の保存修理は、第11章で示したとおり、令和8～12年度の前期で優先的に対応する予定です。
2	158	活用のための整備の方法に、「高遠城の空堀の復旧」を入れていただきたい。 調査で具体的な深さが分かっていると聞いたので、どこか1箇所だけでも往時の堀の姿を復旧すれば、大変分かりやすくなり、高遠城の戦いが理解しやすくなるのではないかと思います。	本計画の計画期間(令和8～17年)では、予定事業の実施に注力し、空堀の復旧については次期計画策定段階で検討します。
3	—	今後の史資料調査、発掘調査、城郭研究の進展などによる新しい成果から、高遠城(周辺地域を含めて)の姿が復元され、「戦国時代に武田氏によって軍事的拠点として築城され、天正壬午の争乱を経て、総構えを大きく変えて幕藩体制下の地域支配のためのインフラとして幕末まで機能した」という歴史的な変化がわかりやすく提示されることを希望する。	第7章第2節1(4)の通り、調査研究を継続的に実施し、第9章第1節2の通り、調査成果を踏まえて整備事業を実施して参ります。 頂いたご意見は、今後の施策推進の際の参考にさせていただきます。
4	(97)	史跡の構成要素について、「史跡指定地外 C指定地周辺地域を構成する諸要素 本質的価値に関連する要素」に、「的場城」、「山田城(市史跡)」、「一夜の城跡」を加え、一体的な保存と活用を図ることにより、一層高遠城跡の理解が深まると思われる。	本計画の計画対象区域と関連する計画対象区域は、第1章第2節の図で示した通りです。 ご提案の的場城、山田城、一夜城は対象区域外であるため、本計画においては構成要素には含めません。 昨年認定を受けた「伊那市文化財保存活用地域計画」において、「高遠城」に関連する文化財をまとまりとして捉え、群としての保存活用を推進する関連文化財群を設定してありますので、それに基づいて一体的な保存活用を図っていきます。
5	(155)	公開活用について、本質的価値A-1「高遠藩政期の城郭の姿」やA-3「城内に遺る教育遺産藩校進徳館」は現地で見られるが、A-2「時代とともに姿を変えた城」に関してはデジタルコンテンツによる公開が有効である。	第8章第2節4のとおり、デジタル技術を用いた公開等の手法を今後検討して参ります。
6	—	地名や専門的な用語などにフリガナを振った方がいい。	ご意見を踏まえ、必要と思われる部分にルビを振ります。

No.	該当 ページ	内容	市の考え方
7	—	史跡指定と公園との関連について、新旧の移り変わりはそこに暮らす人々とともに歴史が積み重なっていくもの。 史跡の指定を厳格・限定的にしすぎて桜を撤去せよ、法令の規定に従えとするならば、史跡指定は返上するのがよい。 何のための公園か、公園の意義を考慮すべき。	本計画では高遠城跡の歴史経過を踏まえ、史跡としての価値はもちろん、それ以外の城の歴史性に関連する多様な価値を明確にしています。 第4章第2節や第6章第2節のとおり、史跡を保存した上で、多様な価値についても配慮し、保全していくこととしています。
8	—	公園範囲外に点在する遺跡や遺物、遺構も含め、保存活用を企図することで、高遠城跡の保存活用がより鮮明となる。 例えば秋葉街道沿い、北は杖突峠から各宿場、南は分杭峠まで、高遠城周辺も含め、寺社や石仏等高遠領以前のもも含め、周辺の文化的歴史的な遺物、遺構と連携し、総合的な保存活用を企画することが重要と思う。	本計画の計画対象区域と関連する計画対象区域は、第1章第2節の図で示した通りです。 ご提案の内容は、昨年認定を受けた「伊那市文化財保存活用地域計画」において、「街道」に関連する文化財をまとまりとして捉え、群としての保存活用を推進する関連文化財群を設定してありますので、それに基づいて一体的な保存活用を図っていきます。
9	—	高遠城は要害堅固な土地に築かれており、街道筋の監視、防御に適する場所に立地しているが、高遠ダム建設によりかつての景観が変わってしまい、立地条件を一目で理解することができない。地学的な面から、城を取り巻く環境を保全し、ダム建設以前の城が機能した当時の景観に復旧してもらいたい。 (今後、ダムの水利権の更新時や新しいダムを上流に造る際には、条件として高遠ダムの撤去をしてもらいたい。せめて堰堤の上の装置を撤去し、自然流下するようにし、景観をよくしてもらいたい。 同時に藤沢川からの取水を停止して、藤沢川の水流を戻してもらいたい。)	本計画は、史跡高遠城跡の保存活用に関わる計画ですので、ダムの運用に関する個別のご意見への回答は行いません。
10	—	高遠周辺には文学碑が多く、お城の物語とつながっており、周囲の美しい景観とも関係する。 文学碑や関係する小説等を掘り起こし、デジタルファイル化し、発信することが求められる。 知的情報の発信は観光上も有効である。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
11	—	景観がよいことを活かし、かつては絵画を募集する「高遠の四季展」が行われていた。市町村合併後、「伊那高遠の四季展」とし、伊那と付加したことがまずかったと思う。 信州高遠の中に「伊那市」があることを理解すべきで、今後の観光運営のためにも重要なこと。その認識は高遠城跡保存活用計画にも生きてくるはず。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
12	—	百名城が流行っており、そのためだけの見学者もいるため、御城印を入手しやすいような対応が必要。	現在御城印は、高遠町歴史博物館、伊那市民俗資料館、伊那市観光協会高遠観光案内所で販売しており、いずれかの施設で入手可能です。
13	—	観桜期に迅速な開花情報、交通情報を出すべき。市のホームページで情報を毎日更改して知らせることはできるはず。	伊那市観光協会のホームページやSNS(X、インスタグラム)で、毎日サクラの開花情報を発信しているほか、観光協会のSNSでは、混雑の概況やその日のおすすめの駐車場等も発信しています。 観光協会のホームページへは、市公式ホームページからリンクしています。 交通状況は刻一刻と変化しますので、即時性が高い情報発信が求められます。 Googleマップの交通状況等、リアルタイムで情報を把握できる手段がありますので、こうした手段をホームページ等で紹介できるように検討いたします。

No.	該当 ページ	内容	市の考え方
14	—	城跡の活用面から、たくさんの観光客が来る観桜期前に、定期的に見回りをして周辺の環境整備をすべき。 (2025年春は大手坂の遊歩道に枯葉が積もり、竹の枝が垂れ下がり、歩行の障害になりそうだった。) 以前行われていたように、住民が協力して一斉清掃をするなどの活動がなされることが望まれる。	頂いたご意見は、第7章第2節1(1)維持管理に係る施策推進の際の参考とさせていただきます。
15	—	高遠城跡周辺の景観や風致の保護に取り組んでほしい。 ①五郎山周辺にある3本の送電線について、更新の機会があったら、五郎山を迂回するか、里から見た時に景観を阻害しないようにしてもらいたい。 ②公園周辺の電線の再配置、地下埋設の推進が望まれる。 ③高遠城跡周辺で高遠城を遠望する場所(月蔵山、白山、鉾持棧道の上の俎平、城山)において、展望を確保するための伐木が望まれる。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
16	—	草刈りや公園周辺の掃除について、簡易な作業の範囲で市民全体で無料奉仕の自主参加の協力体制を組織化することができないか。	頂いたご意見は、第7章第2節1(1)維持管理に係る施策推進の際の参考とさせていただきます。
17	—	小中学校において、長時間でなく大まかでいいので鎌倉時代以降の高遠の通史と高遠(伊那地区を含む)を取り巻く地理を教えるようにしてほしい。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
18	150	高遠閣の利活用について、年間を通して利用度が低い。管理人を配置し、100名城スタンプも常時高遠閣へ設置するなど、100名城と連携しての活用を考える。 城跡の入園について有料化できないか検討してほしい。	高遠閣は現状の形での利活用を基本とし、頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。100名城スタンプ設置については、高遠閣へ設置していたこともありますが、利用者マナーや管理上の問題があり、博物館へ移設しています。利用者が多い観桜期のみ、高遠閣窓口へも設置しています。 城跡の有料化に関して、料金徴収のためには多額のコストがかかるため、費用対効果を考えると現実的ではありませんが、ご意見として今後の施策推進の参考とさせていただきます。
19	162	市民、地域活動団体の参加、協働について、市民、関係団体等の情報共有と連携支援は大変重要である。 窓口を明確にし、各種意見や提案等を積極的にかつ迅速に処理するようにお願いしたい。	頂いたご意見は、第10章運営・体制の整備に係る施策推進の際の参考とさせていただきます。
20	—	他の城郭では、天守閣を背景に記念撮影する姿を見かけるが、高遠城跡には桜、紅葉以外にお城を体感できるものがない。 2つのアルプスを眺めたり、西高遠の町屋街を俯瞰できるような眺望はどうか。	第8章第2節1(3)で設定した見学基本ルートの中で、眺望を望めるポイントを設定しています。このルートを活かした史跡の公開活用について、検討を深めて参ります。
21	26	高遠城の歴史的環境の項は、市内に残る鎌倉から戦国時代の春日城跡や殿島城跡、蟻塚城跡などとも関連づけて、小中学生から楽しめる歴史物語にして著してはどうか。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
22	55ほか	史跡の公有化については、景観上の課題である堀内の民家の移転を最優先に取り組んでほしい。	公有化については、第7章第2節1(3)の通り推進して参りますが、頂いたご意見は、施策推進の際の参考にさせていただきます。

No.	該当 ページ	内容	市の考え方
23	73ほか	調査研究にあたっては、新聞報道等で逐次一般に知らせてほしい。考古学的調査では、発掘調査の現地説明会をぜひ開催してほしい。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
24	124	武家屋敷の調査・記録に取り組んでほしい。所有者の理解を得て一般公開することも検討してほしい。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
25	(155)	活用面において、ARだとダウンロードの面倒さやその後のシステム維持費が生じる。アナログな方法として、池上典氏の復元図パースを描いた視点位置で説明板に明示したり、各地点の復元図を示したチラシが有効と思う。	頂いたご意見を参考に、今後サイン設置や活用の方法について、検討を深めて参ります。
26	—	現地では地形が分かりにくいいため、縄張り等遺構の理解のために、地形模型を現地に設置すると有効である。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
27	—	南曲輪の発掘を通して、近世庭園文化と江戸の内藤家庭園との関係などをぜひ情報発信してください。新宿との歴史的脈絡に因んだ地域間交流のさらなる発展につながるよう一言入れたらどうか。	第8章第2節7を「地域振興や観光、地域間交流の拠点としての活用」とし、地域間交流に関わる内容を追加しました。
28	—	進徳館は魅力的な遺産。 玄関の扁額文字と落款を乾拓板にし、書や落款の文化に触れる機会にしてほしい。 また、楷の木の枝下を透かせて、西側の眺望を確保してほしい。	第9章第2節2「活用のための整備の方法」を推進する中で、頂いたご意見を参考に検討を深めて参ります。
29	—	高遠城址公園開園150周年のポスター展示は素晴らしいもので、印刷やホームページでのデータ公開を積極的に進めてほしい。	ご意見を踏まえ、市のホームページでの公開を検討します。
30	—	史跡に指定されているため、一括交付金の中には百数十万円が含まれている。文化財としての城跡のために、確保、活用をお願いしたい。	頂いたご意見は、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
31	—	用地の問題もあるが、大手門石垣(建造物でなく)の復元ができれば、城としての顕在化が図れ、城下町からの新しいシンボル・魅力になると思う。	頂いたご意見は、長期的な展望の中で検討することとし、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
32	38 53	38頁7行目に「1545年4月17日に城を出て降参(自落)しており、」とあるが、「高白斎記」には「17日己酉諏訪頼継自落」とあり、城を出て自落したとは記載されていない。 「城を出て」は削除する必要があると思う。 53頁(3)指定理由に、「高遠の地はもと諏訪一族(諏訪・高遠・保科)の支配にあり、武田氏が進出して高遠城を築き…」とある。38頁の記載事項(「信玄が高遠氏から接收した城を改修したのか、新たな場所に築城したのかは明らかではありませんが…」)と一致していない。 高遠城は武田氏が作った城ということを明確化すべきと考える。	ご指摘を踏まえ、「城を出て」の文言を削除します。 指定理由の記述は指定当時の見解として『月刊文化財』に掲載された内容を引用しています。 『高白斎記』に書かれた「歟立」を新規築城の儀礼として捉えるのか、改修時の儀礼として捉えるのか、見解が分かれるところです。 高遠城の築城者が武田氏である根拠資料が他にないため、本計画においては現在の表現に留めます。

No.	該当 ページ	内容	市の考え方
33	45	勘助曲輪の説明について、星野葛山の「高遠記集成」を根拠としているが、中村元起の「板町落葉」では高遠記集成の考えを否定している。山本勘助についても、長い間架空の人物とする考え方が主流であったが、真下家所蔵文書により、山本菅助の存在が証明され、天文17年の晴信の感状では、山本菅助の伊那郡における働きに言及されていることから、勘助曲輪と山本勘助を全面に出して主張すべきである。私は「高遠城があつて増築のために勘助曲輪がつけられたのではなく、高遠城は勘助曲輪から始まった。勘助曲輪は史跡高遠城の最重要曲輪だ」と考えている。	ご指摘を踏まえ、板町落葉の見解を併記し、両説を紹介した上で、山本勘助との関わりにおいて語られる曲輪であるという形に修正しました。
34	158	史跡高遠城跡の中ではじめにできたと考えられる最重要曲輪は「勘助曲輪」と考える。 伊那高遠再生のために、山本勘助を使うべき。 駐車場やヘリポートができてよかったとならぬように、少なくとも勘助曲輪の位置を視覚化し、勘助曲輪が大事だということ、復元したいという方向性を後世に残すべき。 主として保存のための整備の方法に、「(10)高校設置当のためグラウンド化された鍛冶堀、勘助曲輪、武家屋敷のあった位置の視覚化を行う(違う色の砂利を敷く等検討の上実施)」を追加してほしい。	第7章第1節1(2)の各地区の保存の方法の中のD地区において、「勘助曲輪や鍛冶堀の以降を現地に表現する手法を検討し、将来的な整備を目指します。」としています。 本計画の計画期間内に検討を行った上で、次期計画において、検討結果を反映させていきたいと考えています。